

# JVA REPORT

# 1

'12 JANUARY  
NO.150

## MAIN REPORTS

- 2012年年頭所感 桐畑敏春会長
- 2012年新年賀詞交歓会 盛大に開催
- <寄稿>ACTAについて  
～これまでの経緯と今後の展望

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

一般社団法人 **日本映像ソフト協会** 会報



2012年年頭所感 桐畑敏春会長 .....	2
2012年新年賀詞交歓会 盛大に開催 .....	3
関西地区連、中部地区連 賀詞交歓会開催報告 .....	6
第309回定例理事会開催報告 .....	6
ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査2011 実施について .....	6
<寄稿>ACTAについて ~これまでの経緯と今後の展望 .....	7
Jmd社 2011年11月現在の作品登録状況について .....	8
技術的制限手段無効化リッピングソフトを提供している出版社に通知書送付 .....	8
ビデオレンタル店実態調査結果② .....	9
ファイル共有ソフト等を使用した著作権法違反事件 .....	11
CODA 上海で7海賊版販売店を集中一斉取締り・感謝盾を贈呈 .....	11
海外の情報から .....	12
リレーエッセイ⑨⑩ .....	13
日誌に見る協会の動き .....	13
違法対策活動 11月、12月度 .....	13
月間売上速報 (11月) .....	14
月間売上速報 グラフ資料 .....	14



# 2012年 年頭所感

一般社団法人 日本映像ソフト協会  
会長 桐畑 敏春

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、デジタルテレビの普及に伴いデジタル録画機器の家庭への普及も進んだようで、ゲーム機器やパソコンを含めたブルーレイ視聴可能機器の普及率が50%を超えてきたようです。いよいよブルーレイソフトの普及のための環境も整ってきております。昨年のビデオソフトメーカー出荷統計を見ても、ビデオソフト売上金額の四分の一に近いシェアを占めるほどの市場に成長してきております。今年こそは、ブルーレイソフト市場の大ブレイクの年となるよう邁進すべき年であると位置づけております。

一方で、昨年は米国のテレビ番組を中心に配信するHuluが日本で事業展開を始めたり、年末にはYouTubeも配信事業を開始させました。また放送局の配信事業が黒字化したという話題も出て来るなど、なにかと映像配信に関する話題が注目を集めていました。現状の映像配信市場の規模を推し量っても、パッケージソフトのセルやレンタルの市場とはまだまだ格段の差がありますが、いずれにしろ将来的には映像コンテンツの供給形態のひとつとして共存していくこととなりましょう。パッケージと配信を競合するものとして捉えるのではなく、それぞれが協調、刺激しあいながら映像ソフト産業をさらに拡大させていくというビジョンをもつことが重要だと思います。そのためには、互いのマーケットにおけるユーザーの違い、ニーズの違いなどのきめ細かい分析や試行錯誤による検証が必要となってきますので、こういった点にも注視していく所存です。

さて、我々のコンテンツを守る海賊対策の活動を振り返りますと、昨年は不正競争防止法と関税法の改正法が12月1日から施行され、DVDなどの複製防止技術を無効化する「リッピングソフト」の販売な

どをした場合に罰則が科せられることとなりました。これまで、リッピングソフトを使ってパッケージソフトから複製されたコンテンツがネット上で流通するという事態が多発しておりましたが、この改正によりかなりの抑制効果が生まれると期待できます。

また、昨年末には全国の警察によって、ファイル共有ソフトなどを通じたコンテンツの著作権法違反について、全国一斉取締りが実施されました。これにより全国の警察において捜査手法が確立されたこととなり、今後、さらなる効果的な取締りが期待されます。警察庁をはじめ全国の警察の皆様改めて感謝申し上げたいと存じます。そしてまた今年も、不正商品対策協議会やコンテンツ海外流通促進機構を通じて、国内外の海賊対策にも引き続き努力をしまっている所存ですので、知的財産戦略本部、警察庁、文部科学省、経済産業省などの関係官庁の皆様、及び関係団体の皆様のますますのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて昨年、私達は、東日本大震災という未曾有の惨事を経験しました。復興へ向けた道のりを歩んでいく中で、人々の心を支えるものはやはり人間の心であり、映像や音楽といったエンタテインメントはその心を伝える重要なツールになり得ると確信しました。被災された方や支援に奔走されている方、また日本全体を応援する意味でも、エンタテインメントを盛り上げていかなければならないと思っております。おりしも、昨年当協会は設立40周年を迎えました。今年は50周年に向けて新たな一歩を踏み出す年となります。ぜひとも、会員社の皆様を始め、関係各位のご協力をいただきながら、明るい未来に向かって共に歩を進めていきたいと思っております。

今年も一年、どうぞよろしく願い申し上げます。

## 2012年新年賀詞交歓会 盛大に開催

去る1月6日（金）午前11時30分から、新春恒例のJVA新年賀詞交歓会が千代田区九段の「アルカディア市ヶ谷（私学会館）」にて開催された。

当日は明るい新春の日差しに恵まれた天気となり、会員社をはじめ業界関係者、関係官庁、団体、報道の方々など約510名が一堂に会し、新年の慶びを分かち合った。

開演に先立ち、桐畑会長から「去年は東日本大震災という未曾有の災害と原発事故を体験したが、エンタテインメントは人々の心の支えになる重要なツールだと確信した。昨年40周年を迎えた当協会も、50周年に

向けて皆さまと共に歩を進めていきたい」という新年の挨拶があり、続いて経済産業省大臣官房審議官（IT戦略担当）商務情報政策局付 今林顯一様、文化庁長官官房審議官 芝田政之様、警察庁生活安全局生活経済対策管理官 世取山茂様に来賓のご挨拶をいただいた。その後、内閣官房知的財産戦略推進事務局事務局長の近藤賢二様に来賓ご挨拶と乾杯の音頭をとっていただき、歓談となった。

中締めは椎名副会長の音頭で三本締めを行い、約1時間半の宴は盛況のうちに幕を閉じた。

▼理事・監事が金屏風前に整列しお客様を出迎えた



▼約510名が一堂に会し、盛大に開催された





▼新年の挨拶をする桐畑会長



▼来賓挨拶：経済産業省大臣官房審議官 (IT戦略担当) 商務情報政策局付 今林顯一様



▼来賓挨拶：文化庁長官官房審議官 芝田政之様



▼来賓挨拶：警察庁生活安全局生活経済対策管理官 世取山茂様



▼来賓挨拶と乾杯の音頭：内閣官房知的財産戦略推進事務局事務局長 近藤賢二様



▲内閣官房知的財産戦略推進事務局 近藤賢二事務局長の音頭で乾杯

▼司会のフジテレビ阿部知代アナウンサー



# 新年賀詞交歓会

▼会場のあちこちで明るい笑顔が見られた



▼中締め挨拶をする椎名副会長



▼来賓の皆様



## 関西地区連絡協議会 新年賀詞交歓会 開催報告

1月12日(木)、グリーンプラザ大阪にて関西地区連絡協議会賀詞交歓会が、メーカー、流通各社から約50名のご参加を得て開催された。

後藤健郎JVA専務理事・事務局長、吉田健生関西地区連代表幹事、世良與志雄CDV-J理事長よりご挨拶を頂き、業界の現状、今年の展望などについて活発な意見交換が行われた。最後に味村隆司JIMCA代表より中締めのご挨拶を頂き、盛況の内に閉会となった。

(報告 東宝(株)映像事業部関西営業室 広瀬真氏)



吉田健生関西地区連代表幹事の挨拶



中締め 味村隆司JIMCA代表

## 中部地区連絡協議会 新年賀詞交歓会 開催報告

1月13日(金)、名古屋ホテルキャッスルプラザにて中部地区連絡協議会の新年賀詞交歓会が開催された。

JVAより後藤専務理事・事務局長、佐藤業務部長にご参加いただき、参加メーカーは7社10名、計12名の出席となった。昨年中に加盟社が1社減ったものの、盛況に開催された。市況は相変わらず厳しい中、地域市場の活性化のために活動をしていくことを確認し、活発な意見交換・情報交換が行われ、盛況な賀詞交歓会となった。

(報告 東映ビデオ(株)金沢営業所 営業室室長 北島 泰子氏)



後藤健郎専務理事の音頭で乾杯



松竹(株)水野晋治ビデオ事業室室長の挨拶

## THE BOARD OF DIRECTORS 理事会

### 第309回定例理事会開催報告

第309回定例理事会は、昨年12月6日(火)午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

第1号議案 2011年下期賞与支給額(案)承認の件…承認その他、報告事項は次の通り。

各分会報告について、2012年度会費算定について、2011年下期私的録画補償金分配について、jmd映像作品登録状況について、ファイル共有ソフト等を使用した著作権法違反事件一斉取締りについて、国会図書館から公立図書館等への公衆送信権制限立法について、『ほんとは? ホント! フェア in 大阪』について、2011年10月度ビデオソフト売上速報について、DVD・BDハード出荷実績について、等。

## 統計調査委員会

### ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査2011 実施について

統計調査委員会(藤浦 昭委員長 (株)ポニーキャニオン)では、セル、レンタルのユーザーに対してアンケート調査を行い、一年間の消費動向を検証するとともに、そこから年間のユーザーレベルでのビデオソフト市場規模を推計する「ビデオソフト市場規模及びユーザー動向調査」を本年度も実施する。今回の調査では、前年の調査内容([http://www.jva-net.or.jp/report/annual\\_2011\\_5-19.pdf](http://www.jva-net.or.jp/report/annual_2011_5-19.pdf))に加え、大容量録画機器やスマートフォンの普及がユーザー動向に与えた影響、およびBDハード所有者のうちBDソフトを買わない、レンタルしない層に対しその理由などについて質問項目を追加している。調査方法はインターネット調査、目標回収は1,200票、1月中に調査を実施し結果の発表は4月を予定している。

## <寄稿> ACTA について ~これまでの経緯と今後の展望

特許庁総務部国際課 国際制度企画官 櫻本 剛<sup>\*1</sup>

昨年10月、各国閣僚、大使等が東京に会し、ACTA（アクタ：Anti-Counterfeiting Trade Agreement）の署名式が執り行われた。

ACTAとは、我が国の呼びかけにより、知的財産を侵害する模倣品・海賊版を世界中から排除することを目指し作り上げられてきた複数国間の協定である。この協定がいかなる背景の下でどのように作り上げられ、今後どのように進展していくのか解説する。

### ●ACTA構想の背景

模倣品・海賊版の被害は拡大を続け、全世界での貿易被害額（OECD調査）は2005年には約2,000億ドル、その後2007年には2,500億ドルを超え、正規品の世界貿易額の約2%を占めている。企業等が時間とお金をかけて創造し積み上げてきた知的財産にただ乗りする模倣品・海賊版の存在は、投資収益が十分回収できないだけでなく、創造意欲の減退にもつながる。また犯罪・国際テロ組織への資金供給源の可能性も指摘されている。

この模倣品・海賊版に対処するための国際ルールとして1995年発効のWTO・TRIPS協定が存在する。しかし、同協定はWTO全加盟国に対する最低限の基準を定めるにとどまり、多様化、複雑化する模倣品・海賊版の問題に必ずしも十分には対処できていない。より実効的な知的財産の執行に係るルールの策定が必要とされているが、例えばEUのエンフォースメント提案に開発途上国から強い反対が示されるなど、WTO、WIPO等の既存の枠組みでは加盟国間の利害関係が複雑化し、新たな多国間ルールの合意形成が非常に困難な状態になっている。

### ●ACTA署名までの経緯

この状況をふまえ、我が国では、模倣品・海賊版の拡散を防止するための条約の構想が、2004年に「模倣品・海賊版対策加速化パッケージ」において提起され、翌年G8グリーンイーグルス・サミットにおいて小泉首相（当時）により国際的に提唱された。その後、日米のイニシアティブにより、知的財産保護に関心の高い国（我が国、オーストラリア、カナダ、EU、韓国、メキシコ、モロッコ、ニュージーランド、シンガポール、スイス、米国）の間で、現行の枠組みより実効性の高い知的財産の行使に関する国際的規律の形成を目指して交渉が開始された。

交渉は11回に及び、2010年10月の東京会合において大筋で合意した。次いで2011年4月には、英語に加えフランス語、スペイン語のACTAテキストが確定した。

続く2011年10月の署名式では、国内手続きを終えた8か国（上記下線国）の代表が協定に署名した。そこには国内手続き未了の国・地域も出席し、共同記者声明において「協

定を引き続き強く支持すること及び実務的に可能な限り早期に署名するための準備を行う」姿勢を表した。

### ●ACTAの概要<sup>\*2</sup>

ACTAは、①高い法的規律の形成、②知的財産権の執行の強化、③国際協力の推進、の3つの柱からなる。

#### ①高い法的規律の形成

民事上の手続（損害賠償額の立証負担の軽減等）、国境措置（著作権等侵害物品の輸出入に対する職権での取締り等）、刑事上の手続（模倣ラベル単体での取引の刑事罰化等）、デジタル環境における知的財産権の執行（デジタル環境における知財侵害への民事・刑事手続の適用や、技術的手段の回避に係る装置の製造やサービスの提供に対する規制等）が規律されており、TRIPS協定等の既存の国際的枠組みよりも高いレベルの内容となっている。

#### ②知的財産権の執行の強化

執行機関における専門家の育成や、知財侵害の統計分析、透明性向上などが定められており、上記①の規律の実効性確保への貢献が期待される。

#### ③国際協力の推進

執行機関間でのベストプラクティスの交換や、開発途上国の執行機関に対するキャパシティビルディングに努めることなどが定められており、他の加盟国からの協力によるACTAの実効性の向上が期待される。

### ●今後の展望

ACTAの知財保護水準を実現するため、また世界的認識を高めるため、交渉参加国は協定の早期発効を目指している。ACTAは6か国の批准書の寄託後30日で発効することが定められ、現在我が国では批准の準備中である。

並行して、ACTAの知財保護水準を新興国等に展開していくことが重要である。既述のとおりACTAは、新たな多国間ルールの合意形成が困難な状況の下、まずは複数国間で実効性の高い国際ルールの形成を目指したものである。今後は新興国等へのACTAの参加の働きかけや、経済連携協定等でのACTAルールの採用等のアウトリーチが必要である。その一環として、中国に対し昨年10月の第3回日中知的財産権ワーキング・グループでACTAを紹介し、ACTAの研究を共同で行うことに合意した。

また、将来的にはACTAがさらに実効性の高い規律となるよう、協定内容を見直していくことも考えられる。

このように、模倣品・海賊版を世界中から排除することを目指し、ACTAの戦略的な進展が見込まれている。模倣品・海賊版の排除には、ACTAの枠組みのみならず総合的かつ多面的な取組が不可欠であり、その中でACTAの取組みを着実に進めていくことが重要である。

<sup>\*1</sup> 昨年12月まで経済産業省通商政策局通商機構部 国際知財制度調整官

<sup>\*2</sup> 協定のテキストについては以下ウェブサイトを参照。  
[http://www.meti.go.jp/policy/trade\\_policy/acta/index.html](http://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/acta/index.html)

## jmd社 2011年11月現在の作品登録状況について

DVD・ブルーレイの販売プロモーションを目的に、映像作品のデータベースの蓄積作業の協力を依頼している(株)ジャパンミュージックデータ(jmd)より、蓄積作業とその活用が順調に行われているとの報告がなされた。

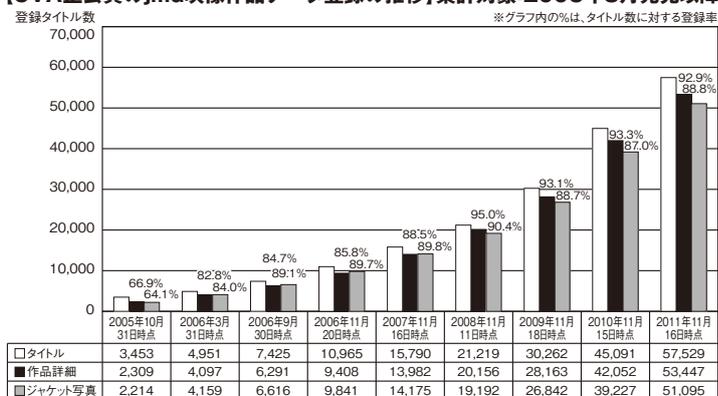
2011年11月現在で、JVA加盟社の映像作品登録数(音楽を除く)は57,529タイトルとなった。作品詳細は92.9%、ジャケット写真は88.8%が登録されており、映画やテレビドラマ等のみを対象とすると、ほぼ100%に近い作品の入力が行われている(資料1)。

この映像データベースは、タワーレコード、HMV、新星堂、星光堂、ビックカメラなどに加え、楽天、auなどのEコマースサイト、携帯サイトでも広く活用されている。前回の報告があった2010年11月以降、エイベックス・マーケティング(mu-moショップ)、日本出版販売、ハピネットPM、ヤフー、ヨドバシカメラの5法人が提供先として追加され、現在51社で活用されている。

なお、JVA加盟社のブルーレイの作品登録数(音楽を除く)は5,540タイトルで、jmdに登録されている全ブルーレイ作品数(音楽、アダルトを含む)6,309タイトルの87.8%を占めている(資料2)。

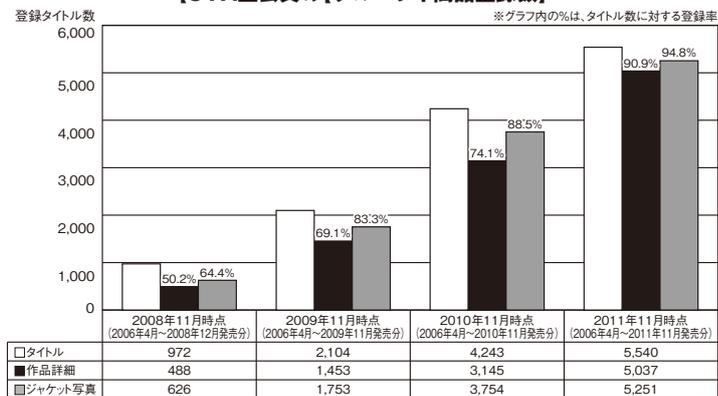
**資料1** ◆対象商品:JVA正会員社の一般市販映像商品(DVD、UMD、ブルーレイ)  
◆対象外:音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品

【JVA正会員のjmd映像作品データ登録の推移】集計対象:2005年8月発売以降



**資料2** ◆対象商品:JVA正会員社の一般市販映像商品(ブルーレイ)  
◆対象外:音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品

【JVA正会員の【ブルーレイ商品登録数】



【集計対象の変更】2008年、2009年、2010年の実績には「JVA非加盟社」「音楽」「アダルト」のデータが含まれる。

## 不正競争防止法

### 技術的制限手段無効化リッピングソフトを 提供している出版社に通知書送付

当協会は、昨年12月から本年1月の間に一般社団法人日本映画製作者連盟及び一般社団法人日本動画協会と連名で、DVDビデオ等に用いられている技術的制限手段を無効化するプログラム(「リッピングソフト」)を収録したCD-ROM等を添付した雑誌やムック本を発行発売している出版社9社に対して、不正競争行為であるかかるプログラムの提供行為を直ちにやめるとともに、今後そのような行為を二度と繰り返さないことを誓約するよう求める通知を送付した。(1月13日現在、4社から契約書を受領している。)

昨年12月1日に改正不正競争防止法が施行され、「リッピングソフト」を収録したCD-ROM等を添付した雑誌や書籍の販売などした場合には、刑事罰が科されることとなった。

当協会らを含む権利者6団体は、それに先立ち昨年9月28日に、出版、流通関連団体及び消費者団体に改正不正競争防止法が12月1日から施行されることの周知協力依頼を行っていた。

(参照・・・[http://www.jva-net.or.jp/news/news\\_110928/01.pdf](http://www.jva-net.or.jp/news/news_110928/01.pdf))

その周知協力の甲斐なく、改正不正競争防止法が施行された現在においても、著作物に用いられている技術的制限手段を無効化するプログラムの提供行為が、著作物の発行を生業とする出版社の一部の手によって繰り返されていることは残念であり、今後とも関係団体等のご協力を仰ぎつつ、不正競争防止法違反の行為が行われない環境の構築に努めてまい

旨のニュースリリースを12月20日に公表した。  
(参照・・・[http://www.jva-net.or.jp/news/news\\_111220/notice.pdf](http://www.jva-net.or.jp/news/news_111220/notice.pdf))

## ビデオレンタル店実態調査結果②

# ブルーレイレンタルは小規模ながら、今後のシェア拡大が見込まれる

統計調査委員会（藤浦 昭委員長 株ポニーキャニオン）が昨年6月に実施した「第25回ビデオレンタル店実態調査」の結果につき、前号の『JVA REPORT No.149』において1回目の報告をしたが、引き続き2回目の調査結果のレポートをする。前回は、月平均レンタル売上金額が3年ぶりに上昇に転じたが、店舗間での格差が広がっている点、新作・旧作ともに平均貸出料金の低減傾向に歯止めかからない点などをレポートしたが、今回はブルーレイレンタルに関する調査結果についてご報告する。

### <調査実施概要>

調査対象	JVAレンタルシステム加盟のレンタルビデオ店 (ネットレンタル及び自動レンタル機器によるレンタルを除く)
調査時期	2011年6月
調査方法	郵送アンケート方式
調査対象期間	2010年6月～2011年5月の1年間
調査票送付数	3,829票
有効回答標本数	573票（有効回答率 15.0%）
集計分析	株式会社文化科学研究所
集計機関	株式会社ビデオリサーチ

### <調査結果の概要>

#### ●ブルーレイレンタルの実施率は88.5%に

ブルーレイレンタルの実施率は88.5%と前回よりも増加し、VHSレンタルを終了してブルーレイレンタルを開始する動きが明確となった。今後はDVDレンタルとブルーレイレンタルの共存が主流となっていくと推察される。レンタル面積規模別にブルーレイレンタルの実施率を見ると、大規模店では98.5%、中規模店で90.9%となったが、小規模店では32.7%にとどまっており、大きな差となっている。また小規模店ではVHSのレンタル実施率が57.7%と依然として高く、ブルーレイレンタルの実施率を上回っている。

（本報告では、店舗内のビデオレンタルコーナーの面積が40坪未満の店舗を「小規模店」、40～100坪を「中規模店」、100坪以上を「大規模店」と表している。）

図1. レンタル実施状況

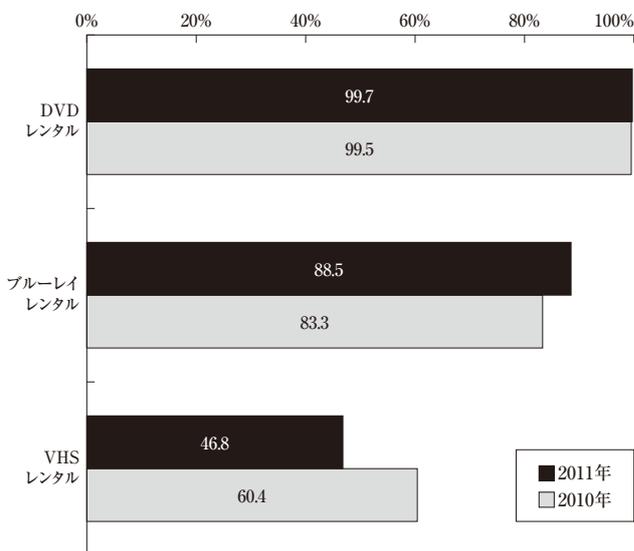
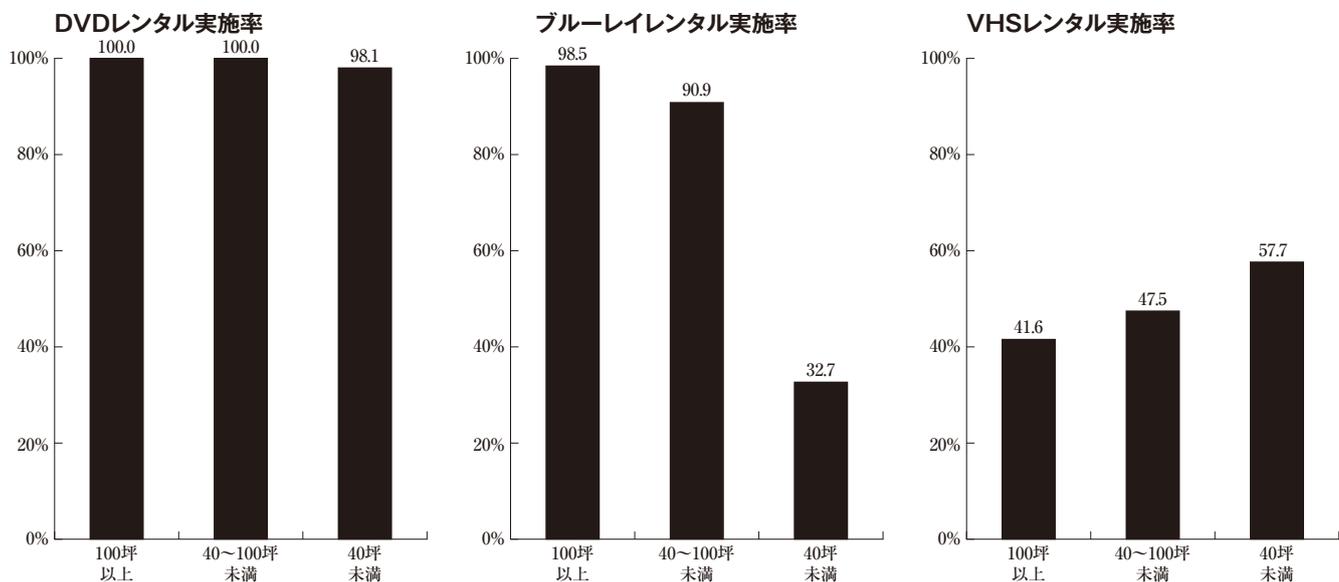


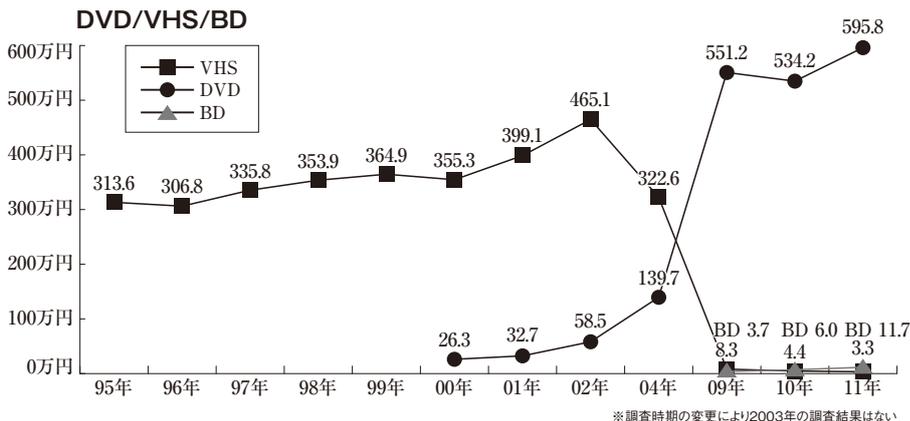
図2. レンタル面積規模別レンタル実施状況



## ●ブルーレイレンタルの実施規模は小規模に留まる

ブルーレイレンタルの実施率は上昇したものの、月平均の売上金額は11.7万円で、DVDレンタルの月平均売上金額595.8万円のわずか2.0%にすぎない。また店舗規模別に平均売上金額を見てみても大きな差はない。(小規模店については回答数が極端に少ないため参考値)

図3.月平均売上金額推移



## ●売上金額、貸出数量、在庫数量など、規模は小さいながら伸長率は大きく、今後シェア拡大の様子

ブルーレイレンタルの売上金額は小さいながら前年比は195.0%と2倍近く伸長、貸出枚数でも前年比239.3%と高い伸長率となっていることから、今後のシェア拡大が見込まれる。また、在庫枚数も全体で平均774枚となり、前年比233.8%と大幅に増加した。もちろん在庫比率としてはDVDの1.8%程度ではあるが、レンタル面積規模別にみても大規模店で前年比272.1%、中規模店で同217.4%、そして小規模店でも同254.9%とどの規模においても大幅に在庫を増加させている。

図4.レンタル面積規模別BDレンタル平均売上

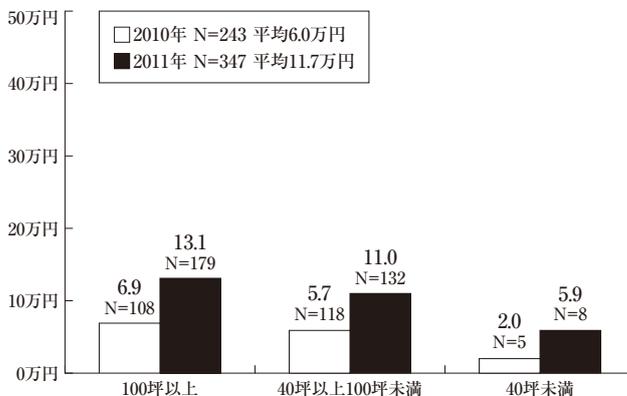


図5.BDレンタルの実施状況

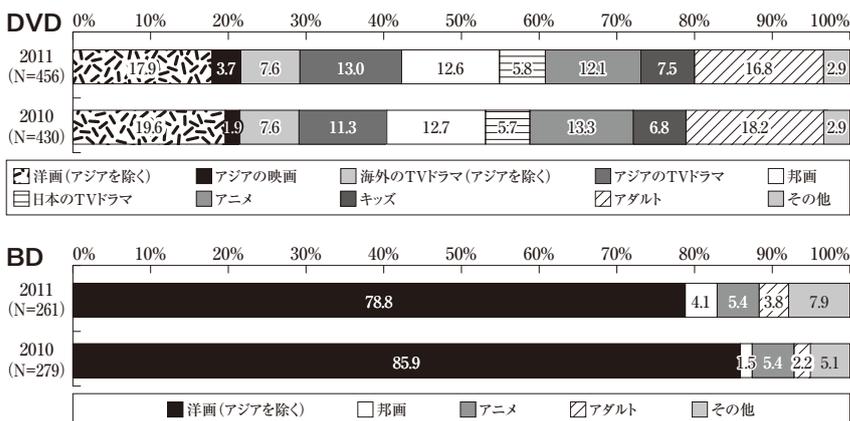
BDレンタル	月平均売上金額 (万円)			平均在庫枚数			月平均貸出枚数			月平均仕入金額 (万円)			月平均仕入枚数		
	2011年	2010年	前年比	2011年	2010年	前年比	2011年	2010年	前年比	2011年	2010年	前年比	2011年	2010年	前年比
全体	11.7	6.0	195.0%	774	331	233.8%	402	168	239.3%	9.2	4.8	191.7%	34	20	170.0%
100坪以上	13.1	6.9	189.9%	925	340	272.1%	436	200	218.1%	13.3	5.8	229.3%	45	22	204.5%
40坪~100坪以上	11.0	5.7	193.0%	763	351	217.4%	401	151	265.7%	6.3	4.2	150.0%	28	19	147.4%
40坪未満	5.9	2.0	295.0%	260	102	254.9%	112	55	203.1%	3.8	2.6	146.2%	10	4	250.0%

※40坪未満の小規模店は回答数が少ないため参考値

## ●貸出ジャンルは大きく「洋画」に偏る

貸出されているジャンル分布では、多様なジャンルにわたっているDVDに対し、ブルーレイではリリースされているジャンルの種類や在庫整備が進んでいないこともあり、「洋画(アジアを除く)」の一極集中状態となっている。

図6.貸出ジャンルの実態



## ファイル共有ソフト等を使用した著作権法違反事件 全国集中一斉取締りの実施について

全国の47都道府県警察は、ファイル共有ソフト等を通じた、映画、音楽、アニメ、ゲーム、ビジネスソフトなどの著作権法違反事件について、昨年11月28日から30日までの間に、過去最大規模の集中一斉取締りを実施し、全国で76箇所を捜索、30人を逮捕（12月1日午後1時現在）した（表1参照）。

JVAはそのうち、12県における取締りに協力し、10件の告訴状がそれぞれ受理されている。

ファイル共有ソフトを使用した著作権法違反の一斉取締りは、平成21年から実施され、今回が3回目となる。ファイル共有ソフトを使用した著作権侵害事件の集中一斉取締りが、今回47都道府県すべての警察で実施されたことにより、今後も効果的な取締りが全国で一層推進されることが期待されている。また、同種事犯の取締り件数は、2001年11月に京都府警が検挙したWinMXを使用した著作権侵害事件の取締り以来、累計100件を突破し、125件（不正商品対策協議会調べ）となった。

また、ビデオレンタル店における複製権侵害、頒布権侵害についての11月、12月の実地調査は、1都1府12県の204店について行い、実質的に営業していた93店のうち、セル用商品のレンタル転用の32件を確認し、注意・警告を行った。海賊版所持店は無かった。調査結果は13ページを参照。

表1.ファイル共有ソフト等を使用した著作権法違反事件  
全国集中一斉取締り事件概要 (ACA加盟団体関連)

	警察(所轄)	被疑者				事件概要		担当団体
		住所	職業	性別	年齢	ソフト等	コンテンツ種別	
1	北海道警(北見署)	北海道北見市	アルバイト	男性	43	Share	映画	JIMCA
2	秋田県警(横手署) 岩手県警	岩手県盛岡市	会社員	男性	50	Share	アニメ	ACCS
3	山形県警(象河江署)	山形県新庄市	会社員	男性	49	Share	ビジネスソフト	ACCS
4	茨城県警(境署)	茨城県常総市	無職	男性	24	Share	アニメ	ACCS
5	茨城県警(境署)	茨城県稲敷郡	会社員	男性	33	Share	映画ほか	JIMCA JVA
6	埼玉県警(大宮署) 群馬県警(大泉署)	群馬県邑楽郡	会社員	男性	24	Share	アニメ	JVA
7	千葉県警(千葉北署)	神奈川県座間市	無職	男性	32	Share	音楽	JASRAC RIAJ
8	山梨県警(北都賀署) 静岡県警	静岡県浜松市	会社員	男性	45	Share	音楽	JASRAC
9	富山県警 石川県警(金沢西署)	石川県能美郡	無職	男性	52	Share	音楽	JASRAC RIAJ
10	富山県警、石川県警 長野県警(千曲署)	長野県木曾郡	会社員	男性	27	Share	アニメ	ACCS
11	福井県警(福井署)	福井県福井市	会社員	男性	50	Share	アニメ	JVA
12	岐阜県警(各務原署)	岐阜県各務原市	無職	男性	45	Share	アニメ	ACCS
13	愛知県警(中署)	愛知県清須市	会社員	男性	41	Share	音楽	JASRAC
14	滋賀県警(彦根署)	愛知県半田市	アルバイト	男性	29	Share	ゲーム	ACCS
15	大取府警(東署)	北海道札幌市	無職	女性	51	BitTorrent	アニメ	ACCS
16	兵庫県警(灘署、芦屋署、西宮署)	兵庫県明石市	商科技工士	男性	28	Cabos	音楽	JASRAC RIAJ
17	奈良県警(高田署)	奈良県葛城市	会社員	男性	35	Share	アニメ	ACCS
18	岡山県警(赤磐署) 鳥取県警	東京都杉並区	ミュージシャン	男性	41	Share	映画	JIMCA
19	広島県警(広島中央署)	鳥取県鳥取市	カメラマン	男性	43	Share	アニメ	ACCS
20	徳島県警(阿波署)	徳島県阿波市	会社員	男性	30	Share	アニメ	ACCS
21	愛媛県警(西条西署)	愛媛県西条市	会社員	男性	60	Share	ビジネスソフト	ACCS
22	福岡県警(中央署)	福岡県福岡市	公務員	男性	32	Share	アニメ	ACCS
23	佐賀県警(佐賀署) 大分県警	熊本県熊本市	団体職員	男性	31	Share	アニメほか	JVA
24	長崎県警(大村署)	長崎県大村市	会社員	男性	26	Cabos	音楽	JASRAC
25	熊本県警 沖縄県警(那覇署)	熊本県熊本市	会社員	男性	48	オンラインストレージサイト	アニメほか	ACCS

# CODA

## 上海で7海賊版販売店を集中一斉取締り・感謝盾を贈呈

CODAは、日本コンテンツの海賊版についての集中一斉取締りを実施した中国・上海の行政機関「上海市文化市場行政執法総隊」に対して、昨年12月8日に現地を訪問して感謝盾を贈呈した。中国において日本コンテンツの海賊版に係わる集中一斉取締りが行われたのは、今回が初めてとなった。

執法総隊が集中一斉取締りを行ったのは昨年11月14日。上海市内の7軒の海賊版販売店が対象となり、約20,000枚に上る海賊版DVD等が押収され、このうちの約16,000枚が、日本の放送番組、アニメ等の日本コンテンツの海賊版であることが判明した。

今回の取締りは、会員企業からCODAに、海賊版販売店舗に関する情報が提供されたことが発端となった。CODAではこれを受けて現地調査を行い、上海市内の14店舗において日本コンテンツの海賊版DVDが大量に販売

されていることを確認した。そして9月下旬に、調査結果を執法総隊に提供して特に悪質な店舗の具体的な取締り要請を行い、11月14日の7店舗における集中一斉取締りにつながった。具体的な要請から取締りが行われるまでにかかった時間はわずか2ヶ月であり、CODAではこの迅速な対応を評価して感謝盾を贈呈した。

なお取締り直後の11月25日には、現地で「日本アニメ・フェスティバル上海」が開かれたが、今林顯一・経済産業省大臣官房審議官（IT戦略担当）による開幕挨拶において、この取締りについての謝意を表明いただいた。

今回の取締りは、現地での知財保護に関する取り組みが、想像以上にしっかりと機能していることを表している。CODAでは、今後も上海における海賊版取締りを執法総隊に要請し、引き続き、日本コンテンツの具体的な権利保護を実施していく。

## 2011年の米国エンタテインメント市場を振り返る

福山 徳昭

(株メディア開発・総研客員研究員 ロサンゼルス在住)

### ★劇映画興行-動員数、90年代半ばレベルに激減

2011年の劇場興収は101億5,750万ドル、100億の大口は超えたものの、前年から3.9%減少した。動員数も127億6,100万人と同じく4.7%減、減少率こそ前年より小さいものの、過去18年で最低を記録した。これを入場料の値上げと長引く不況による悪影響と割り切るのは難しい。通常2Dより割高となる3Dでの上映作品は増加、集客も好調である。こういった状況の中にあるが、興収、動員数の減少は、作品リストの充実とともに上映技術革新への早急対応が望まれた結果と言えるのではないかと。

しかし、市場全体が悲観的となる中、『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 2』が年間興行トップ1と同時にシリーズ最高収入を記録したこと、スロースタートで先行きが懸念された年末ホリデーシーズン公開『ミッション:インポッシブル/ゴースト・プロトコル』も、クリスマス以後劇的に回復したこと、夏の『ハンク・オーバー』続編も予想を遥かに上回る客足となるなど、個々の作品には多くの朗報がある。

### ★ホーム市場-金額減も数量レベルは好調

2011年のホームエンタテインメント総括は1月8日よりラスベガスで開催される「International CES」で公表されるため、本原稿執筆時点では未入手だが、第3四半期(9月末)までは、パッケージとデジタルを合わせたソフトの総売上が122億6,380万ドルと、前年から約2%減で推移。パッケージの実績はセル、レンタルとも芳しくないものの、ブルーレイディスクセル枚数自体は夏の劇場ヒット作の好調も幸いし、年末までにはセル全体数量の5割を超える見込みとなっている。更にブルーレイのハイクオリティ画像を十分に楽しむことができるハイビジョン受像機も9月末までに全米3,400万台普及してきていることから、安直に「伸び悩む金額=市場低迷」とは断言できそうにない。

一方、デジタル流通の著しい伸長は言うまでもなく、

特に第三四半期に限定すると2011年39億2,830万ドル対2010年37億4,590万ドルと、逆に約5%の上昇を示し、デジタル本格化は確実に表れている。

年末商戦に突入、感謝祭後のブラック・フライデーやサイバー・マンデーの目玉商品常連となったブルーレイの、2011年最終実績への貢献度を期待したいところだ。

### ★ネットフリックスの暗と明

2011年の最大の話題の1つは、ネットフリックスのDVD宅配とストリーミングの事業分離、加えてレンタル料値上がある。そもそも宅配で成功を納め、ストリーミングとの抱き合わせで更に飛躍を遂げたビジネスである。ユーザー、株主から総スカンを受けた決断は、結局事業分離の当面見送りで落ち着いたものの、契約者減から免れることはなかった。

ただCEO自ら同社の第4四半期テレビ番組/劇映画ストリーミングが20億時間超となったことを発表、業界大半予測の12億時間を大きく上回ったことで、株価が上向きに大反発した。同時期に公表された別社調査もユーザー満足度で競合サービスを圧倒し、根強い信頼度が改めて確認されている。

デジタル化がますます勢いづく中、最大手ネットフリックスへの注視は、年明け以降も続行中だ。

### 米国劇映画興行実績

年	興行収入 (百万ドル)	前年比	動員数 (百万人)	前年比	封切数	平均 入場料
2011	10,162.9	-3.8%	1,276.7	-4.7%	596	\$7.96
2010	10,565.5	-0.3%	1,339.1	-5.2%	534	\$7.89
2009	10,595.5	10.0%	1,412.7	5.3%	522	\$7.50
2008	9,630.6	-0.3%	1,341.3	-4.5%	607	\$7.18
2007	9,663.7	4.9%	1,404.6	-0.1%	631	\$6.88
2006	9,209.5	4.2%	1,406.0	2.0%	608	\$6.55
2005	8,840.5	-5.8%	1,379.2	-8.7%	547	\$6.41
2000	7,661.0	2.9%	1,420.8	-3.0%	478	\$5.39
1995	5,493.5	1.8%	1,262.6	-2.3%	411	\$4.35

### 家庭用エンタテインメント売上高(第三四半期現在/百万ドル)

フォーマット	第3半期(7~9月)			9月末合計			
	2010	2011	前年同月比	2010	2011	前年比	
パッケージセル	1,816.0	1,742.8	-4.0%	6,553.8	5,612.9	-14.4%	
パッケージレンタル	小計	1,409.2	1,374.3	-2.5%	4,301.6	4,432.2	3.0%
	Brick & Mortar(店舗販売)	494.7	353.0	-28.6%	1,737.0	1,249.5	-28.1%
	会員制郵送	578.8	607.3	4.9%	1,652.5	1,963.1	18.8%
	キオスク	333.8	414.0	23.3%	912.1	1,219.6	33.7%
デジタル	小計	520.7	811.2	55.8%	1,670.6	2,218.8	32.8%
	セル	120.5	135.9	12.8%	380.4	406.2	6.8%
	VOD	400.2	419.9	4.9%	1,290.1	1,349	4.6%
	会員制配信	—	225.4	—	—	463.6	—
市場全体計	3,745.9	3,928.3	4.9%	12,525.9	12,263.8	-2.1%	

### ネットフリックスユーザー調査2011年

調査月		5月	12月
ネットフリックス会員サービス満足度	非常に満足	18%	50%
	満足	39%	33%
	ほぼ満足	34%	9%
	若干不満	8%	4%
	非常に不満	2%	3%
劇映画/テレビ番組を視聴するサービス	ネットフリックス	20%	27%
	Hulu	19%	15%
	ABC.com	13%	10%
	CBS.com	8%	10%
	iTunes	8%	8%
	NBC.com	8%	9%
	アマゾン	6%	9%
	コムキャスト	3%	6%
その他	15%	6%	

参考:Box Office Mojo,DEG Digital Entertainment Group,City Investment Research and Annalysis



(株)角川書店 加茂克也氏からのご紹介

●伊藤 孝之 氏 (バンダイビジュアル(株) 事業本部営業部部長)

## 「第二の友 ウォーキング」

私は週4日、朝1時間ウォーキングを15年間続けています。きっかけは我が愛妻の一言でした。「頭は薄くなるは、腹は出るは、結婚した時とは別人ね！詐欺！詐欺！詐欺師！・・・。」髪の毛は以前から覚悟はしておりましたが体型が変わるとは考えても居ませんでした。日々の不摂生がたたり40を過ぎたあたりから体型が進化していたのです。私の記憶が正しければ75kgは超えていたと思います。因みに身長は175cm、髪の毛は維持しておりました。

愛妻の一言はカチンときました。今思うと感謝・感謝です。気が付いていなければ80kgは優に超えていたのではないのでしょうか・・・また、同時期の名古屋転勤もきっかけの一つです。朝の通勤がdoor to door で30分、乗車率は60%と東京の通勤に比べ楽なので、朝の時間を有効に使えたのです。年齢的にも朝自然と5時頃目を覚ますので家を出るまで3時間余裕が出来たのです。きっかけは不純でしたが始める事となったのです。

当時はジョギングで家の近所(八事 東京で言う田園調布)を走ったのですが、走っているのか歩いているのか・・・体力の無さを痛感するし犬に吠えられ不審者に見られるのは、ジョギングと言うにはほど遠い行動でした。そんな日々を続けているうちにジョギングらしくなり犬との信頼関係もでき吠えられなくなりました(笑)。1年目で3kg、名古屋勤務の5年

間で5kgの減量に成功したのです。5年で5kgと思う方もいらっしゃると思いますが日々の不摂生は昔のままでしたから自分としては満足のいく結果でした。

私は単純明快な人間ですから、この結果が快感に変わり走る事と体重計に乗る事が日々の習慣へと定着致しました。東京へ戻ってからも走る事を続けておりましたが通勤と仕事の過酷さ(笑)から週2日と減ってしまい体重も3kg増えてしまいました。ショックと言うより仕方が無いと言った自分に対する“あまえ”が芽生えて来たのです。

そんな時でした。首の後ろが重くなり耳鳴りがする様になったのです。すぐさま医者に行き診断した結果は“高血圧”でした。なんと血圧が上190下130と自分でも訳が分からない(ちょっと不安・超不安)状態でした。追い討ちを掛けるように医者から“死ぬよ”と脅され・・・とにかく塩分を控え食生活を変え運動しなさいと言われ咄嗟に週4日走っていますと嘘を吐いてしまいました(情けない)。結果、走るのは心拍数を上げ逆効果と聞きウォーキングに変えたのです。これが2度目のきっかけとなり今現在に至っております。

おかげさまで体重も2kg減り週4日を維持しております。今思うと“きっかけ”は不純でしたが神のお告げと信じ今後も続けていきます。また、第一の長い友の髪が去った今、第二の友としてウォーキングと長く付合って行こうと思っています。

### ▼日誌に見る協会の動き

[12月]

- 6日 理事会
- 13日 総合連絡委員会
- 15日 著作権部会
- 21日 下半期統計報告担当者説明会
- 22日 業務使用対策委員会
- 28日 仕事納め

### ▼違法対策活動(2011年11月、12月)

表1.調査状況一覧表

調査地区	内 訳			海賊版所持所持店	セル商品のレンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等		
福島県	9		1		1
宮城県	1				
群馬県	8	1	12		5
東京都	2		33		
新潟県	8		3		2
愛知県	1				1
三重県	6	1			2
滋賀県	1				
大阪府	7		11		5
兵庫県	1				
広島県	10		20		2
愛媛県	2				2
長崎県	6	1	11		1
熊本県	21	7	20		11
合 計	83	10	111	0	32

表2.2011年11月、12月  
実地調査による調査実績

調査店	204店
営業店数	93店
違法行為	海賊版所持 0件
確認件数	セル用商品のレンタル転用 32件
海賊版確認数	0枚
違法行為確認率	34%

# 統計

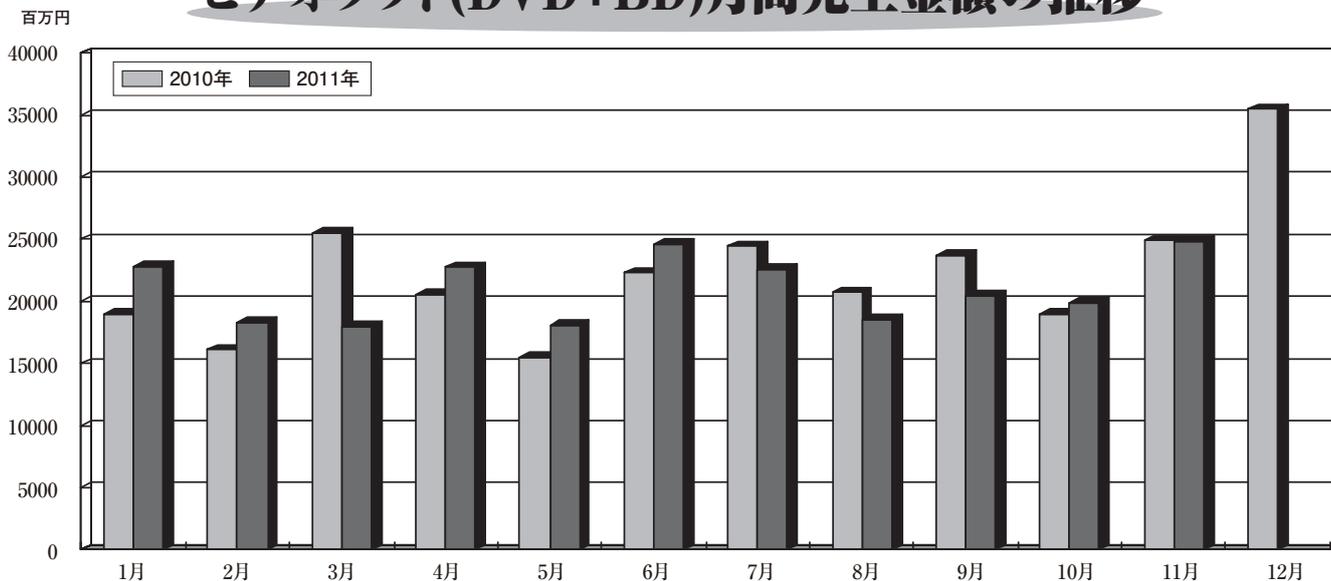
2011年11月度

(金額：百万円 数量：千枚)

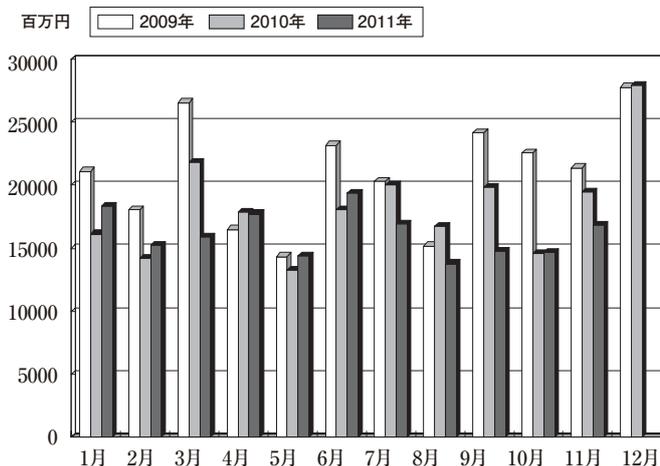
	11月実績								売上金額の増減社数	1月～11月の累計							
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比		金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比
販売用	10,228	60.7%	84.0%	3,591	54.4%	87.3%	520	116.9%	増減 12社 18社 1社	107,616	60.4%	89.5%	34,800	56.9%	86.9%	4,911	85.2%
レンタル店用	6,503	38.6%	90.2%	2,887	43.8%	90.1%	478	76.2%		69,548	39.0%	97.6%	25,766	42.1%	98.3%	5,731	100.9%
業務用	120	0.7%	200.0%	117	1.8%	147.4%	9	ERR		1,104	0.6%	114.9%	571	0.9%	90.7%	200	250.0%
DVDビデオ	16,851	67.8%	86.7%	6,596	76.1%	89.1%	1,007	93.9%	増減 16社 10社 3社	178,268	76.9%	92.7%	61,137	82.9%	91.4%	10,842	94.1%
販売用	7,646	95.6%	150.7%	1,884	91.2%	166.2%	235	158.8%		51,081	95.1%	135.4%	11,373	90.4%	125.7%	1,704	118.7%
レンタル店用	309	3.9%	86.6%	128	6.2%	60.5%	42	53.2%		2,540	4.7%	130.3%	1,142	9.1%	90.1%	572	171.3%
業務用	40	0.5%	1000.0%	54	2.6%	3660.3%	0	ERR	70	0.1%	127.3%	66	0.5%	486.6%	2	ERR	
ブルーレイ	7,995	32.2%	147.1%	2,066	23.9%	153.5%	277	122.0%	53,691	23.1%	135.1%	12,581	17.1%	1121.8%	2,278	128.7%	
合計	24,846	100.0%	99.9%	8,661	100.0%	99.0%	1,284	98.8%	231,959	100.0%	99.9%	73,718	100.0%	95.5%	13,120	98.7%	

◎今月の売上報告社数……31社(\*前年同月の報告社数31社) 無回答社……1社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合  
 ◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。  
 ◎累計値には、1月～6月の数値として、2011年上半年調査の数字(統計調査報告書Vol.72)を用いている。  
 ◎7月調査からUMDを調査の対象外としている。そのため、ビデオソフトの総売上についての前年同月比、前年同期比の算出の際には、当該期のUMDの実績を除いた数値を用いている。

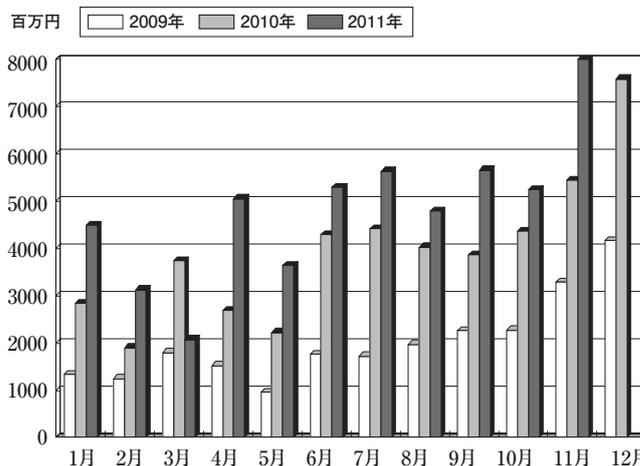
## ビデオソフト(DVD+BD)月間売上金額の推移



## DVDビデオ月間売上金額の推移



## ブルーレイ月間売上金額の推移



# 一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2012年1月1日現在

## ■ 正会員(32社)

(株)アニプレックス  
アミューズソフトエンタテインメント(株)  
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)  
エイベックス・マーケティング(株)  
(株)エスピーオー  
(株)NHK エンタープライズ  
(株)角川書店  
ギャガ(株)  
キングレコード(株)  
ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)  
(株)小学館  
(株)ショウゲート  
松竹(株)  
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント  
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント  
(株)第一興商  
TCエンタテインメント(株)  
東映ビデオ(株)  
東宝(株)  
東宝東和(株)  
(株)東北新社  
20世紀フォックス  
ホームエンターテイメントジャパン(株)  
日活(株)  
(株)バップ  
(株)ハピネット  
パラマウント ジャパン(株)  
バンダイビジュアル(株)  
ビクターエンタテインメント(株)  
(株)ボニーキャニオン  
(株)メディアファクトリー  
ユニバーサルミュージック(同)  
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

## ■ 協賛会員(21社)

(株)一丸印刷所  
(株)IMAGICA  
カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)  
(株)キュー・テック  
(株)金羊社  
(株)ケンメディア  
(株)シーエスロジネット  
(株)ジャパン・ディストリビューション  
システム  
(株)星光堂  
ソニー PCL(株)  
大日本印刷(株)  
(株)東京現像所  
東芝デジタルフロンティア(株)  
東洋レコーディング(株)  
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ  
日本出版販売(株)  
日本レコードセンター(株)  
ビクタークリエイティブメディア(株)  
(株)富士フイルムメディアクレスト  
(株)ムービーマネジメントカンパニー  
メモリーテック(株)